

# 平成 26 年度第 1 回宇都宮市冒険活動運営協議会会議議事録

○日時 平成 26 年 6 月 13 日 (金) 10:00~11:30

○会場 宇都宮市冒険活動センター 会議室

○出席者氏名

- |                                  |                             |
|----------------------------------|-----------------------------|
| ・塚原 和哉委員 (市小学校長会) <副会長>          | ・平野 智之委員 (宇都宮大学) <会長>       |
| ・平野 洋一委員 (市中学校長会)                | ・沼尾 順市委員 (篠井地区ゆたかなまちづくり協議会) |
| ・五十嵐市郎委員 (市子ども会連合会)              | ・藤田 政美委員 (県林業センター)          |
| ・森山 公子委員 (市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会) | ・坂内 剛至委員 (ネイチャープラネット)       |
| ・相田美智子委員 (市レクリエーション協会)           | ・入江 尚見委員 (公募)               |
| ・村上 敬吾委員 (県キャンプ協会)               | ・芥川 一男委員 (公募)               |

(事務局) 坂野 忠所長 黒須 正宏副所長 稲澤 正明指導主事 矢野 学指導主事

○欠席者氏名

馬上 剛委員 (市PTA連合会)

○公開 (傍聴者の数 0人)

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 議 題

## (1) 報告事項

- ① 平成 25 年度事業報告について (ア学校受入事業, イ主催事業, ウ一般受け入れ事業)

事務局 : (資料にそって説明)

会長 : 学校受け入れに関して説明があったが, ご意見, ご質問はあるか。

平野委員 : アンケートは毎年実施するのか。

事務局 : 生きる力に関するアンケートは今年で 3 年目になる。事業を見直す材料としたいので, 学校に負担はかかるが, テーマを変えて毎年やっていきたい。

平野委員 : アンケートに関して, 学校では調査が非常に多いので, 2 年に 1 度といったことも考えていただければと思う。

森山委員 : 先生のアンケートの中にあまり達成できなかったというものがあったが, どのような理由か分かるか。

事務局 : 追跡調査をやっているわけではないので, 理由は分からない。もしかしたら, 計画通りいかなかったからなのか, 何かトラブルがあったからなのか, 体調を崩した児童・生徒が出たのかそういうことも考えられる。

森山委員 : 本当は来たくない先生がいるのではなか。行かなくても良いと考えている引率の先生がいるのではないか。そのような引率の先生のお気持ちが反映したのではないか。

会長 : 事務局はその件に関してどのように考えるか。

事務局 : 私たちは, 自然体験活動に特化して行っている施設である。年間学校で行っていることを考えると冒険活動教室だけが良いことではなく, 学校で取り組んでいる全ての活動が子どもたちにとって教育的に意義のあるものである。冒険活動教室も子どもたちに良いものであるが, それだけではない。先生方は, 自分の得意分野を出して教育活動に取り組んでいる。その優先順位が違う考えの先生もいる。色々な先生の価値観の違いは, たくさん子どもたちに対応していく上であってもよいと考える。

所長 : アンケートの回答については, 内容を見ると学校内のことと誤解して書いている先生もいる。また, 過去のもので記憶にあるのは, 以前に来たときの学年と比較して思っていたより良くなかったと回答していた例もあった。

達成されなかった場合, なぜか記入してもらおうなど, アンケートの方法をかえていってもよいと考えている。

芥川委員 : 確認だが, この学校受け入れ事業は, 市立だけで私立は除いているのか。

事務局 : その通りである。

会長 : つづきの報告をお願いする。

事務局 : (資料にそって説明)

会長 : 報告に関していかがか。

- 五十嵐委員： 昨年度、市子連では、利用者のための研修会を私たち団体の研修として捉え参加したが、キャンプファイヤーや炊飯のやり方がとても参考になったと言っているものがいた。できれば、こんなことをやる予定なので、このような研修をやってもらいたいといえるようになっていけばよりよいものとなっていくと思う。
- もう一点。子どものもりフェスティバルに関してだが、日程をずらして対応しているでしょうが、この日は、街中でも行事が行われ、市子連も市内でブースを出しているので、フェスティバルに関われない現状がある。
- この場所は、保護者の送迎がないとなかなか来られないところである。市でも横のつながりをもって、イベントを調整していただきたい。
- その時期は、イベントが目白押しで、市でも調整を行っているところではあると思うが、さらに調整して行っていただくと市子連としても協力しやすい。他でブースを出している手前、冒険活動センターにはいけないので、考えていただければありがたい。
- 事務局： 利用者のための研修会に多く参加していただきありがとうございました。日程については、他の団体と協議をしながら決めていくことが理想であるが、現実的には、少し厳しい点もある。事前情報があれば、少しでも情報を集めて、日程を決めていければよいかと思っている。他の主催事業でもそのようなことを考慮して考えていきたい。
- 内容については、利用者のねらいや目的にあったもので、できるだけニーズに合わせた内容を盛り込めたらよいと思っている。そのような事前に内容を練る形がとれたらよりよくなっていくと考える。
- 次に日程の件だが、秋の時期のイベントに関しての情報を集めて組んでいる。新年度の日程については、10月か11月頃から動き出している。蓋を開けてみると街中の大きなイベントとかぶっていて、急にずらしたこともあった。
- 利便性、行きやすさでは、同じ日程になってしまうと負けてしまうのでできるだけ大きなイベントにかぶらないようにと悩みながら日程を組んでいる。
- 会長： その他ないか。
- 坂内委員： 施設の安全管理、安全面について、報告をお願いします。
- 事務局： 施設に関しては、安全点検を月1回行っている。プラスして、活動に関するものでは、一歩間違えると大怪我を伴う可能性のあるアドベンチャーゲーム等では、活動前に安全確認を毎回している。ワイヤーを渡る活動では、実際に職員が事前に渡るなど、安全の確認ができた中で活動を行っている。
- 入江委員： 子どものもりフェスティバルにおいて、音楽会をやっているが、それは、募集しているのか。
- 事務局： このような場で音楽を聴ければよいという考えから実施してきた。参加者については、職員のつてを使ってやっているのが現状である。
- この時期にイベントが多いので、毎回同じ団体にやってもらうことが難しく、こちらで検討して、声をかけてやっていただいている。
- 入江委員： 歌や民族的な音楽をやっていたことが記憶に残っている。オカリナ、ケーナをやっていて、自然の中でとてもすばらしかった印象がある。宇大でもそのようなサークルがあると聞いている。そのようなつながりがあってもよいのではないか。
- また、富屋小学校でも吹奏楽を行っているが、発表の場も多くないので、フェスティバルに呼んで演奏してもらうことは、子どもたちにとってもよいのではないか。
- 参加者が少ないようなら、そのようなことを考えてもよいのではないか。
- 冒険キャンプについてだが、昨年、子どもが参加した。はじめは嫌といていたが、帰ってきたら、楽しかったといていた。その時いただいた帽子や杉板焼きは、楽しかった思い出として残している。今年もまた行きたいといているので、ありがたかった。
- 会長： 協議事項に移る。

## (2) 協議事項

### ① 平成26年度事業計画について（ア 学校受入事業、イ 主催事業、ウ一般受入事業）

- 事務局： (資料にそって説明)
- 会長： 協議事項について、意見はないか。
- 平野委員： ホタルがこれから出るのではないかと楽しみにしている。3年前に宮の原中で来たとき、あるクラスがホタルを見る計画を立て、幻想的な風景で、私としても懐かしい風景として心に残った。子どもたちも感動していた。今後もそのようなホタルや昆虫、サワガニ等、自然の充実を図っていただきたい。
- 相田委員： レクリエーション協会先日アリーナを使わせていただいた。その際、大雨でアリーナで雨漏りがあった。また、床がすべりやすく危険も感じた。点検をして早めに修理していただきたい。大雨では、かなりサイドも濡れていた。

- 事務局 : 雨漏りに関しては、悩まされている。計画的に予算をいただけるように私たちも頑張っていきたい。  
フロアのすべりやすさに関して、ご指摘していただいた件ですが、年に1度ワックスがけをしている。それによって多少は滑りやすさは解消できるが、それだけでは、なかなか1年間もたない状況である。そこで、今年度は、昨年度末に多めにワックスを購入できたので、年間2回塗る予定でいる。少しでも皆さんが安全に活動できるように取り組んでいるところである。本来は、業者に頼んで、ふるいワックスを全部取り、ワックスをかけると滑りにくく、バスケットもできるような状態になるでしょうが、安いものではない。予算も視野に入れながら、今は職員によるワックスがけで対応している。
- 平野委員 : 水にぬれて、床がふやけてしまっただけでは、余計予算がかかってしまうのではないかと。  
所長 : 震災の影響で市の体育館やプールの改修をスポーツ振興課として、最優先で行っていたが、その対応にめぼしがついた。  
今年度は、冒険活動センターを重点に修繕していくという目標も出ているので、取り組んでいきたい。
- 芥川委員 : 具体的にどのようなところに予算をかけて直そうと思っているのか。  
所長 : キャンプファイヤー場の水はけの問題、観客席の整備。テントサイトの木道の整備。炊飯場の屋根が傷んでいること、炊飯場の土、石も出てきている。  
ロッジに向けての斜面が崩れかけている。また、ロッジも木でできているので、雨漏りはしないが、20年近くたっているため、全面的なリフォームが必要。ご指摘いただいた体育館の状態も把握しており、整備が必要である。このようにたくさんある。
- 芥川委員 : これから、ここでの成果を示して、予算を取ってほしい。我々委員も協力できることは限られているが、あと押しが必要であれば惜しまない。  
必要な修繕を施し、これまでの活動を是非続けていって欲しい。
- 村上委員 : ちびっこキャンプについて、我々キャンプ協会では、今まで小学1年生から3年生までを対象にこの施設を使って4回実施してきている。30人募集して、毎年、定員を超えての応募があり、人気のキャンプのひとつとなっている。  
私どもの経験を参考としてお伝えできることは、事前説明会を保護者と一緒にその施設で行うことがよいと思う。保護者も安心し、子どもたちもイメージが湧き、この施設で行うんだといった気持ちになる。幼児キャンプにおいては、スタッフが大変で、お互いの意思の疎通が大切になる。そのあたりがポイントになるのではないかと。  
日程は決まっているのか。
- 事務局 : 決まっている。8月31日と9月20日～21日で計画している。  
村上委員 : 我々は7月に実施予定である。小5から中3対象の冒険キャンプもあるので、つながっていくのではないかと。小さい子にこのような機会を設ける企画を取り入れたことは、いいことである。  
宿泊は、テント泊で行うのがよいと考える。
- 事務局 : ありがとうございます。  
会長 : 他にいかがか。  
沼尾委員 : 地域においても、ここの施設は重要である。  
フェスティバルの日程は、決まった日程でこの時期にやっていただくと地元としてありがたい。  
冒険活動センターでのテレビの取材の件だが、駐車場にあるうどんの「はるな」にも取材が入り、6月25日に放映される。  
篠井発見ラリーについて資料を見ると小学校でかなりやっているようだが、そのチェックポイントに、来年度あたりに栃木県の中心である「栃木のへそ公園」への取り組みが始まるので、そこも入れて知っていただくのも良いのではないかと。展望台等もできる予定で、10ヵ年計画で進めている。ホテルの件も準備を進めている。  
施設の充実についてたくさん話ができたが、今年度秋に市長との懇談でこの件についても発言してくるつもりである。
- 村上委員 : 山の日についてだが、8月11日が山の日として法改正がなされた。2016年から施行される。趣旨は、山に親しんで、山の保全につなげて、山の体験ができる日にしていこうといったものであるが、ここの設置目的と重なる部分もあると思うので、一般を対象とした取り組みができると良いのではないかと。夏休みの時期で、さらに暑い時期。ここの里山では、なじまないかもしれないが検討をお願いしたい。
- 藤田委員 : キャンプファイヤーとキャンドルファイヤーでは、圧倒的にキャンドルファイヤーを実施した学校が多い。手軽さ等あると思うが、大変でもこのような場所で見せられると子どもたちの印象に残るものとなるのではないかと。キャンプファイヤーはとても印象に残るプログラムであり、できれば、キャンプファイヤーを推奨していただければ

- 塚原委員： ばと感じる。  
私の勤務している今泉小は、駅東のマンションの中にある学校である。子どもたちの様子を見ると自然体験が少ないと感じている。7割以上が集合住宅に住んでいる。雪が降ったときに、雪を楽しんだか聞いたところ、マンションなのでベランダに雪は積もらず、十分雪を楽しめなかったそうだ。しかし、そんな中でも子どもたちの学校での様子を見ると野菜を育てたり、苗を植えたりする姿が見られ、感心なことに植物への水やりなど毎日行っている。普通の自然体験が少ない分、そのような関心の高さがうかがえる。本格的に仕組んだ中での体験活動は、こういった施設でないとできず、有効な施設であると感じている。安全面を配慮していただく中で、いろいろな体験を通して、子どもたちは成長する。冒険活動センターの特徴である自然体験ができ、職員の支援が手厚い施設であるので、今後もそのようなところに力を入れていただけるとありがたい。
- 事務局： これから計画を進めるにあたって勇気をいただいた。  
皆さんの意見を反映していきたい。
- 会長： 以上で協議を終わりにしたいと思うがよろしいか。これで閉会する。
- 事務局： ありがとうございます。

## 5 閉 会